



千葉労働動員



国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989 2 B No. 2968

天皇に戦争責任あり!

第三回労働学校

天皇Xデー状況をうつ 昭和天皇の犯罪!

一月二八日、第三回労働講座・動力千葉労働学校が千葉県労働者福祉センターにおいて開催され、各支部より三〇名が結集した。今回は「開始された天皇Xデー攻撃・昭和天皇の戦争責任」をテーマにして、講師に元朝日新聞記者・現フリーのジャーナリストの田中伸尚氏をお迎えして行なわれた。田中氏は、ヒロヒトの生い立ち、教育、「人間」形成、人脈等を細部にわたり具体的な資料の分析にもとづき、昭和天皇ヒロヒトの戦争責任・天皇制のもっているまや

かし性・凶暴性について論及していった。ヒロヒトの死とアキヒトへの代替り行事を通して、新たな天皇制攻撃が激化している。政教分離の原則を破つての「大喪」の国事行為としての強行などは戦前型そのものであり、支配者階級はヒロヒトの死を最大限利用して、天皇制国家主義体制を作りあげようとしている。われわれは、勇気をもって、これら天皇制的反動攻撃にたちむかわなくてはならないと反天皇闘争への決起を訴えられました。

無類の好戦家「ヒロヒト」

第三回労働学校(その一)

ヒロヒトは、青年時代の七年間を乃木將軍をはじめとする陸海軍の軍大將によって徹底的に「帝王学」を叩きこまれ、ヒロヒト本人をして「朕は現人神(あらひとがみ)



であり、国家元首であり、アジアの帝王である」と言わしめるほどの人物に「成長」したのであり、同時に無類の好戦家志向の人物として自己を形成したのであった。
祖父・父(明治・大正天皇)は朝鮮・台湾侵略・併合を「成し遂げ」、さらに、北満州へ食指を延ばした。「皇国」日本はヒロヒトの代になって、本格的な中国・アジア侵略、無謀な大東亜共栄圏構築に突入していった。

安全無視・労働強化の駅合理化

1/25 営業関係団交

一月二五日、千葉支社において、営業協議会参加のもと、「ダイ改に関する申し入れ」および「営業関係の改善要求」について団交を行った。
席上、当局はこれまでの「営利優先・安全無視」の姿勢に一貫し、諸要求にまともな答えなければかりか、出向攻撃の目玉「子会社設立(千葉ビジネス二四名)」と駅「営業職、輸送職」十二名の要員削減を提案したのである。

減しようというのだ。具体的には、精算窓口の徹夜勤務を廃止し長日勤として、要員を一名減らし、朝晩は精算窓口を閉め、集札口で精算をさせる。(平井駅)現場では当然、「遠距離からの精算や払い戻りしはどうするのか?おおよそ不可能ではないか?」という疑問が続出している。当局はそうした現場の切実な声に、「改札で対応すれば良い」とばかりなのである。
カーブした見通しの悪いホームから要員をはずして改札に入れる。(銚子駅)などなど、およそデタラメ極まる内容である。また無人駅管理の削減とはポイントの清掃、保守の周期を延伸することであり、まさしく事故に直結するものとなるであろう。
人命さえも奪われる重大事故の発生にまで至つたのにもかかわらず、そうしたことには何ら振り返らないばかりか、反省のカケラもないのだ。
いままた、「安全の無視、切り捨て」が強行されんとしているのだ。
営業協議会は、駅要員削減阻止、八九・三ダイ改粉砕にむけ、駅百名のストライキ体制をもって闘い抜く決意である。(営業協議会より投稿)